

令和七年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 一、「開始」の合図あいずがあるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は、**1**から**3**までで、**六**ページにわたって印刷してあります。
- なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄らんに**受検番号**を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」しゅうりようの合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

注

意

1

次の(一)～(八)の各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

- ① 音楽を聴くと気が紛れる。      ② スポーツで身体を鍛える。      ③ 騒音に対して免疫ができる。  
④ 作業の手間を**はぶく**。      ⑤ 母とえんげきを**観る**。      ⑥ 選手の名前を**れつきよ**する。

(二) 次の文の傍線部分の漢字として最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

王が国をおさめる。      [ア、修      イ、収      ウ、納      エ、治]

(三) 次の①、②の故事成語の傍線部分の漢字として最も適当なものを、それぞれあとのア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 杞ゆう(意味：…する必要のない心配をすること)。  
[ア、勇      イ、憂      ウ、遊      エ、誘]

- ② 烏合のしゆう(意味：…鳥の集まりのように、規律や統一のない人々の集まりのこと)。  
[ア、衆      イ、習      ウ、秀      エ、終]

(四) 次のア～エの文の傍線部分のうち、品詞が他の三つと異なるものを一つ選び、その記号を書きなさい。

[ア、友達をバス停で待つ。  
イ、昨日の雪で道路が凍る。  
ウ、ここが祖母の家である。  
エ、学校まで自転車で行く。]

(五) 敬語を、尊敬語、謙讓語、丁寧語の三種類に分類したとき、次の①、②の文の傍線部分に用いられている敬語は、三種類の敬語のうち、どれか。あとのア～ウから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ① 店員がお客様をお迎える。  
② あなたのおっしゃるとおりです。

[ア、尊敬語      イ、謙讓語      ウ、丁寧語]

(六) 次の文の傍線部分が慣用句となるように、に入る最も適当な言葉を、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

友人の思いがけない発言にを疑う。

[ア、鼻      イ、口      ウ、舌      エ、耳]

(七) 次の漢文の書き下し文として正しいものはどれか。あとのア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

魯<sup>ロ</sup> 有<sup>リ</sup> 執<sup>ト</sup> 長<sup>チ</sup> 竿<sup>カン</sup> 入<sup>イ</sup> 城<sup>シヨウ</sup> 門<sup>モン</sup> 者<sup>シヤ</sup> (「笑林」による。)

ア、魯に長竿を城門に入らんとする者執りて有り。  
ウ、魯に長竿を執りて城門に入らんとする者有り。  
イ、魯に長竿を城門に執りて入らんとする者有り。  
エ、魯に長竿を入らんとする者城門に執りて有り。

(八) 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(注1) 武州に西王の阿闍梨と云ふ僧有りけり。御年は、いくつにおなりですか  
(注2) 七十に余りて見えければ、不審に覚えて、「六十には、いくら程余り給へる」と問へば、「十四余りて候ふ」と云ひける。  
六十過ぎてございます

七十に余りて見えければ、不審に覚えて、「六十には、いくら程余り給へる」と問へば、「十四余りて候ふ」と云ひける。

遙かの余りなりけり。七十と云へるよりも、六十と云へば、少し若き心地して、かく云ひける。人の常の心なり。

\* 一部表記を改めたところがある。

(注1) 武州 現在の埼玉県・東京都・神奈川県東部にまたがる旧国名「武蔵国」の別称。  
(注2) 阿闍梨 人を導き、人の師となるべき徳の高い僧。

① 二重傍線部分「余り給へる」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

② 傍線部分(A)「御年」とあるが、この文章における僧の年齢として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、その記号を書きなさい。  
ア、六十 イ、六十四 ウ、七十 エ、七十四 オ、八十四

③ 傍線部分(B)「六十に余り候ふ」とあるが、僧が自分の年齢をこのように表現したのはなぜか。その理由を、文章中の古文から二十五字で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(二十点)

(一) 傍線部分(1)「知ら」は動詞であるが、その活用形として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、未然形      イ、連用形      ウ、連体形      エ、仮定形〕

(二) 傍線部分(2)「不易流行」とあるが、筆者は、芭蕉が考える「不易流行」をどのようなことと述べているか。「……こと。」につながるように、本文中から二十字以上三十字以内で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(三) 傍線部分(3)「自分に許さない厳しさがありません」とあるが、この部分は、いくつの単語に分けられるか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、六      イ、七      ウ、八      エ、九〕

(四) 傍線部分(4)「芭蕉は、江戸時代のノマドワーカーだった」とあるが、次の〔 〕の中は、筆者は芭蕉のどのような点を、移動しながら仕事をする人と表現したのかについてまとめたものである。〔 〕に入る言葉を、本文中の言葉を使って五字以上十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

筆者は、芭蕉が〔 〕点を、移動しながら仕事をする人と表現した。

(五) 次の【話し合いの様子I】は、傍線部分(5)「旅のよさは一期一会だ」とはということかについて、みゆきさんとそつまさんが話し合ったときのものである。これを読んで、〔 〕に入る言葉を、芭蕉が生きた時代と現在の、旅の違いにふれ、本文中の言葉を使って三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

【話し合いの様子I】

みゆきさん      一期一会という言葉で調べると「一生の間に一度だけ出会うこと。」と書いてあるね。一生の間に一度だけ出会うことが旅のよさであるとはどういうことかな。

そつまさん      芭蕉が生きた時代では、〔 〕と思うことで受け取る情報が増えて、感動につながるということだね。

みゆきさん      旅で出会うものは一生の間に一度だけだからこそ、そのときの感動で句を詠むことができるというわけだね。

(六) 次の【話し合いの様子Ⅱ】は、傍線部分(6)「自分は単なる変換器だと考えると、創造性のハードルを下げる事ができる」とはどういうことかについて、みゆきさんとそうまさんが話し合ったときのものである。これを読んで、で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に教える。)

【話し合いの様子Ⅱ】

みゆきさん

筆者は「自分は単なる変換器だと考える」と述べているけど、どういうことかな。

そうまさん

筆者は「変換器」の他に「反応する器」とも表現しているね。受け身だと思えば、自分は「反応する器」ということになるよ。

みゆきさん

本当だね。筆者は、受け身というネガティブな印象を受けるけど、受動的なところがむしろいいと述べているね。

そうまさん

そのことについて筆者は、芭蕉の創作をもとに考えているね。芭蕉にとって創造性というのは、自分の内側にあつて発揮するものではなく、だと筆者は述べているね。創造力が自分の中にあると思うと、肩に力が入って出にくくなるとも筆者は述べているよ。

みゆきさん

なるほど。だから自分は単なる変換器だと考えると、創造性を発揮しやすくなるということなんだね。

(七) 傍線部分(7)「古池や蛙飛びこむ水の音」とあるが、この俳句の句切れとして最も適当なものを、次のア～ウから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、初句切れ

イ、二句切れ

ウ、句切れなし

(八) この文章の内容として適当でないものはどれか。次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、芭蕉の発想力を一言で言う「目のつけどころ」であり、「見細かいところに気がつくことが、素晴らしい発想につながる。

イ、創造性の階段を上ることで、一流の人のどこがすごいのか、どこに特徴があるのかを見ることができるようになる。

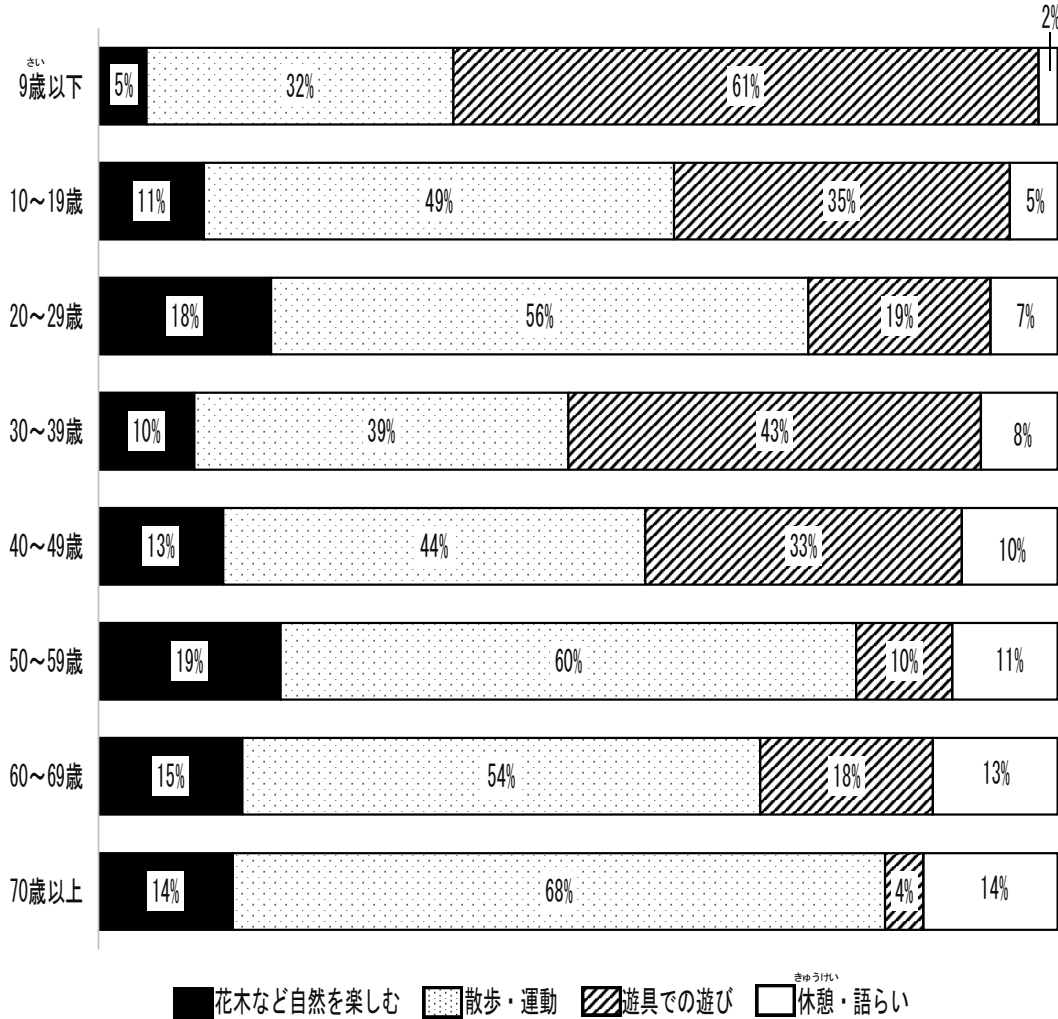
ウ、「インスピレーション」という言葉は「靈感」とも訳され、神に吹き込まれて出てきたものというニュアンスを持つ。

エ、芭蕉が新しく切り開いた境地とは、自然と自分が出会い、自分と自然が一体化したところでは何かを切り取ることである。

## 【資料1】A町のまちづくりの目標

「安全・安心 健康な心と体 笑顔と緑があふれるA町をめざします」

## 【資料2】A公園を利用する主な目的



## 【資料3】A公園を利用しているときに気になったこと

- ・小さい子どもが遊ぶ場所が少なかった
- ・トイレや水飲み場の場所がわかりづらかった
- ・日陰になるところや休憩できる場所が少なくて困った
- ・サッカーをしている人たちのボールがこちらへ飛んできた
- ・公園内で見られる植物の種類が少なかった
- ・夕方になると公園内がかなり暗かった
- ・公園の入り口がせまかったり段差があったりして困った

A中学校では、総合的な学習の時間に「A町のこれからのまちづくり」についての学習に取り組んでいる。あすかさんのグループでは、「利用しやすい公園にするためにはどうしたらよいか」をテーマに発表することにした。次の【資料1】は、A町のまちづくりの目標であり、【資料2】、【資料3】は、発表に向けて、あすかさんのグループがA公園を利用する地域の方々に行ったアンケート結果の一部である。これらを見て、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 【資料2】から読み取れることについて、適当でないものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、「花木など自然を楽しむ」と答えた人の割合は、年代別に見ると、五十～五十九歳が最も大きいですが、すべての年代において二割以下であり、三十～三十九歳では一割である。
- イ、「散歩・運動」と答えた人の割合は、年代別に見ると、七十歳以上が六割を超えて最も大きいですが、「遊具での遊び」と答えた人の割合は、七十歳以上が一割に満たず最も小さい。
- ウ、「遊具での遊び」と答えた人の割合は、年代別に見ると、九歳以下が最も大きく、次いで三十～三十九歳が大きいですが、過半数に達しているのは、九歳以下のみである。
- エ、「休憩・語らい」と答えた人の割合は、年代別に見ると、九歳以下が最も小さく、年代が上がるにつれて大きくなっているが、すべての年代において他の項目よりも小さい。

(二) あすかさんのグループでは、発表に向けて、【資料1】、【資料2】、【資料3】をもとに、A公園をより利用しやすい公園にするための改善案を考えることにした。どのように改善したらよいかについて、あなたの考えを、次の「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② 二段落構成で書き、第一段落には【資料2】と【資料3】からわかることを書き、第二段落には、第一段落で書いたことをもとに、【資料1】をふまえて、どのように改善したらよいかについて、あなたの考えを書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を二百字以上二百四十文字以内にまとめなさい。

— おわり —